令和６年10月16日
国土交通省関東地方整備局
関東技術事務所

第11回出展技術発表会を開催します

～建設技術展示館に展示している最新の技術をご紹介～

令和６年10月31日（木）から令和６年11月１日（金）の２日間、第11回出展技術発表会を開催します。

出展技術発表会は、建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的とし、展示技術テーマ「防災･減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のＤＸ技術」「インフラ分野の脱炭素化･ＧＸ技術」の３つのテーマを中心に出展技術を発表いただきます。そのほか、関東地方整備局によるＩＣＴ施工普及への取組や、日本大学によるインフラ分野のＤＸに関する教育・研究紹介の講演を行います。ぜひご来場ください。

１．日　時：【１日目】令和６年10月31日（木）10時00分から15時30分まで
　　【２日目】令和６年11月　１日（金）10時00分から15時30分まで

２．会　場：・関東技術事務所　建設技術展示館（千葉県松戸市五香西６－１２－１）
　　・オンライン配信　（Microsoft Teamsによる配信）
　　会場定員：各日８０名、オンライン定員：各日２２０名

３．内　容：出展技術発表　発表者：13者（詳細は別紙をご覧ください。）
　　講演：10月31日（木）「関東地方整備局によるＩＣＴ施工普及への取組」
　　関東地方整備局 企画部 施工企画課 課長補佐 古平　崇
　　11月　１日（金）「インフラ分野のＤＸに関する教育・研究紹介」
　　日本大学 理工学部 交通システム工学科 教授 江守　央

４．応募方法
　　聴講は建設技術展示館ホームページよりご応募ください。ホームページは「建設技術展示館」で検索いただくか、別紙をご覧ください。本発表会は１日目、２日目共にCPD認定4.0単位、CPDS認定4.0ユニットを受けております。

５．取材について
　　取材についてはお手数ですが事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

＜発表記者クラブ＞　竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会　埼玉県政記者クラブ　横浜海事記者クラブ
千葉県政記者会　松戸記者クラブ

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局 関東技術事務所
電話：０４７－３８９－５１２１（代表）メールアドレス：ktr-tenzi-info@mlit.go.jp
副所長　菅（内線：２０５）
技術企画　人材育成課　技術情報管理官　角田（内線：３０３）

第16期 DX・i-Construction
建設技術展示館

参加無料

第11回 出展技術発表会

「防災・減災、国土強靭化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のDX技術」「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」3つのテーマを中心に出展技術の発表をおこないます

TIME SCHEDULE

10月31日(木)-11月1日(金)

10:00~15:30（受付 9:15~）　10:00~15:30（受付 9:15~）

会　場

関東技術事務所 建設技術展示館
（千葉県松戸市五香西6-12-1）　各日80名
オンライン配信（Microsoft Teamsによる配信）
各日220名

講　演

10月31日(木)

「関東地方整備局によるICT施工普及への取組」

関東地方整備局 企画部 施工企画課
課長補佐 古平 崇

11月1日(金)

「インフラ分野のDXに関する教育・研究紹介」

日本大学理工学部 交通システム工学科
教授 江守 央

CPD/CPDS 認定予定

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得は事前申込が必要です。

申込期限　令和6年10月25日(金) 12:00 まで　定員になり次第締切

申込方法　単位の取得希望の方は建設技術展示館HPの申込フォームより事前登録をお願いします。
詳しくは建設技術展示HPをご覧ください。

建設技術展示館ホームページ
https://www.kense-te.jp/

会場とオンラインのハイブリッド開催

CPDSの単位取得については会場での聴講者のみとさせていただきます。ご容赦ください。

他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応しかねます。

聴講者による録画・撮影等は一切禁止

【主　催】 国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所
DX・i-Construction

【賛　助】 一般社団法人 関東地域づくり協会
Kanto Regional Management Service Association

建設技術展示館

TIME SCHEDULE

A技術:「防災・減災、国土強靭化、インフラ長寿命化技術」
B技術:「インフラ分野のDX技術」
C技術:「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」

日　程	順番	時　間	技術No.	出展者名	技術名
第 11 回	講	10:00～10:30	講　演	関東地方整備局　企画部　施工企画課 課長補佐　古平　崇	「関東地方整備局によるICT施工普及への取組」
10月31日（木） 【建設技術展示館】& 【オンライン配信】 ハイブリッド	1	10:30～11:00	A 36	大林道路株式会社	高耐久性アスファルト混合物「タフアスコン」
	2	11:00～11:30	B 26	五洋建設株式会社	AR技術の活用で施工現場の安全性を向上 「AR安全可視化システム」
	3	11:30～12:00	A 37	東京鋪装工業株式会社	半たわみ性舗装の長寿命化を図る「ダイヤツイン高強度」
	4	13:00～13:30	B 27	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	道路を支える調査点検技術 「赤外線調査トータルサポートシステム～JシステムEvolution～」
	5	13:30～14:00	A 38	千葉窯業株式会社	円弧状隅角部を有するプレキャストカルバート 「角丸カルバート」
	6	14:10～14:40	A 39	株式会社安藤・間	コンクリートの長寿命化に寄与する耐食技術
	7	14:40～15:10	B 28	地崎道路株式会社	道路インフラの日常点検管理の省力化、低コストを目指した 「ACTUS＆PSSⅡ」
11月1日（金） 【建設技術展示館】& 【オンライン配信】 ハイブリッド	講	10:00～11:00	講　演	日本大学理工学部交通システム工学科 教授　江守　央	「インフラ分野のDXに関する教育・研究紹介」
	8	11:00～11:30	A 41	泉建設工業株式会社	極寒地のコンクリート表層を保護する技術 「IZW.Shield（いず・しーるど）」
	9	11:30～12:00	B 29	太平洋セメント株式会社	RFID構造物診断技術「Wimo」
	10	13:00～13:30	A 40	一般社団法人IPH工法協会	コンクリートの長寿命化を図る注入工法 「IPH工法（内圧充填接合補強）」
	11	13:30～14:00	A 42	金森藤平商事株式会社	構造物の長寿命化を図るNUKOTE（ニューコート） ポリウレアライニング工法
	12	14:00～14:30	B 30	株式会社フジクラ	防災・減災、国土強靭化を支える最新情報通信ケーブル
	13	14:40～15:10	A 43	NTTアドバンステクノロジ株式会社	水を強力に弾き、着雪や着氷も防ぐ技術 「超撥水材料HIREC（ハイレック）」

- 建設技術展示館は16:00まで開館しておりますので、終了後はぜひご見学していただけますようお願いします。
- 構内に駐車場（無料）はございますが、極力公共交通機関でのご来場をお願いします。

DX・i-Construction

【交通】
JR武蔵野線新八柱駅または新京成電鉄八柱駅下車・新京成バス②番 牧の原団地行「建設技術展示館」下車徒歩2分

①東京 ―JR京葉線快速（武蔵野線直通）― 新八柱
②東京 ―JR山手線／京浜東北線― 上野 ―JR常磐線― 松戸 ―新京成線― 八　柱
バス
バス 牧の原団地行 運行間隔 約10分 ―約8分― 建設技術展示館 ―徒歩2分― 建設技術展示館

お問い合わせ
〒270-2218千葉県松戸市五香西6-12-1
国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所
建設技術展示館事務局
[mail] contact@kense-te.jp
[H　P] https://www.kense-te.jp/

発表技術の展示ブースは
QRコードからCHECK

建設技術展示館

国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所
DX・i-Construction